



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月15日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エスユーエス

コード番号 6554

URL <https://www.sus-g.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 公男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 浅田 剛史

(TEL) 075-229-7400

四半期報告書提出予定日 2020年5月15日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績(2019年10月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	4,578	17.2	340	8.4	340	5.9	217	9.7
2019年9月期第2四半期	3,905	16.7	314	29.7	321	30.0	198	37.6

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 213百万円(7.4%) 2019年9月期第2四半期 198百万円(37.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	24.85	23.58
2019年9月期第2四半期	22.76	21.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	3,806	2,433	61.4
2019年9月期	3,606	2,190	60.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 2,336百万円 2019年9月期 2,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年9月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2020年9月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,594	18.2	217	△56.1	216	△57.0	117	△65.1	13.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	8,777,600株	2019年9月期	8,760,000株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	184株	2019年9月期	136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	8,764,448株	2019年9月期2Q	8,725,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復基調が続いております。一方で、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速等による海外経済の不確実性に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される等、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような中、当社の技術者派遣事業においては、IT分野、機械分野、電気・電子分野で技術者ニーズが増加しました。また、ライン部門を中心とした採用強化に伴い人件費が増加しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,578,450千円（対前年同期比17.2%増）、営業利益340,469千円（対前年同期比8.4%増）、経常利益340,874千円（対前年同期比5.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益217,838千円（対前年同期比9.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 技術者派遣事業

技術者派遣は、大手製造業及びシステムインテグレーターにおける慢性的な人材不足により、新規企業からの受注獲得に加え、既存顧客企業においても受注件数が堅調に推移しました。また、在籍技術者数は前年同期比で増加し、稼働率も高い水準を維持しました。加えて、技術者の高付加価値業務への配置転換推進等により、派遣単価の向上にも努めてまいりました。

請負業務は、主にIT請負の取引が拡大したことに加え、製造請負においても、受注件数が堅調に推移しました。

これらの結果、技術者派遣事業の売上高は4,301,049千円（対前年同期比18.6%増）、セグメント利益は363,607千円（対前年同期比21.1%増）となりました。

② コンサルティング事業

システムコンサルティングサービスは、SAPをはじめとした大規模基幹システムにおいてIT基盤の統合・再構築が企業の重要課題とされ、機能拡張やグローバル展開案件が継続して堅調に推移しております。SAPにおいては、クラウド系基幹システムであるS/4 HANAの導入案件が拡大傾向であります。また、SAP以外のERP導入案件も順調に拡大しております。こうした案件状況に対して、自社ITコンサルタントの育成及び増員に加えて協力会社の外注要員を活用し、チーム体制での案件対応を推進してまいりました。

これらの結果、コンサルティング事業の売上高は246,680千円（対前年同期比6.1%増）、セグメント利益は23,604千円（対前年同期比5.4%増）となりました。

③ その他

採用マッチングソリューション「SUZAKU」の売上高は、対前年同期比で微増となりました。一方、前第2四半期連結累計期間は行政から特注のソフトウェア開発の受注がありました。

障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく特例子会社である株式会社ストーンフリーの売上高は、就労移行支援事業の利用者が減少したこと等により、前年同期比で減少しました。

前連結会計年度に設立した株式会社クロスリアリティにおいて、事業の本格的な開始に向けた準備費用が発生しました。

これらの結果、売上高は30,720千円（対前年同期比34.3%減）、セグメント損失は46,742千円（前年同期は8,359千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は3,806,894千円となり、前連結会計年度末より200,602千円の増加となりました。流動資産合計は3,135,086千円となり、前連結会計年度末より141,091千円の減少となりました。これは主に売掛金が91,758千円増加した一方、現金及び預金が255,179千円減少したことによるものであります。固定資産合計は671,808千円となり、前連結会計年度末より341,694千円の増加となりました。これは主に子会社（株

式会社クロスリアリティ)の設備購入等により有形固定資産が95,035千円、無形固定資産が97,976千円増加したことによるものであります。

② 負債の状況

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,373,548千円となり、前連結会計年度末より42,133千円の減少となりました。流動負債合計は1,313,019千円となり、前連結会計年度末より96,446千円の減少となりました。これは主に未払法人税等が63,511千円、その他に含まれる未払消費税等が58,208千円増加した一方で、短期借入金が215,430千円減少したことによるものであります。固定負債合計は60,529千円となり、前連結会計年度末より54,313千円の増加となりました。これは主に子会社(株式会社クロスリアリティ)の事務所のリース開始等に伴いリース債務が28,077千円、資産除去債務が23,355千円増加したことによるものであります。

③ 純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は2,433,346千円となり、前連結会計年度末より242,736千円の増加となりました。これは主に配当実施の一方、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、利益剰余金が156,519千円増加したことによるものであります。加えて、子会社(株式会社クロスリアリティ)における第三者割当増資等による非支配株主持分84,768千円の増加によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ255,181千円減少し、1,778,421千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、191,440千円の増加(前年同期は118,432千円の増加)となりました。資金の増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益340,874千円の計上によるものであります。資金の減少の主な要因は、売上債権の増加91,758千円、法人税等の支払額72,098千円、子会社(株式会社クロスリアリティ)のソフトウェア利用料等の支払に伴う長期前払費用の増加額82,017千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、204,159千円の減少(前年同期は30,317千円の減少)となりました。資金の減少の主な要因は、子会社(株式会社クロスリアリティ)の設備購入等の有形固定資産の取得による支出38,917千円、無形固定資産の取得による支出106,058千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、242,463千円の減少(前年同期は143,596千円の減少)となりました。資金の増加の主な要因は、子会社(株式会社クロスリアリティ)における第三者割当増資等に伴う非支配株主からの払込みによる収入88,887千円によるものであります。資金の減少の主な要因は、短期借入金の純減額215,430千円、長期借入金の返済による支出54,698千円、配当金の支払額61,092千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年9月期の連結業績予想につきましては、2019年11月14日に公表いたしました予想値から変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、技術者派遣事業において、既存技術社員の派遣契約の減少及び新規契約獲得の遅れ、2020年4月入社新卒技術社員の派遣契約獲得の遅れ、技術社員の派遣先のテレワーク推進に伴う稼働時間の減少等から売上高の減少リスクが想定されるものの、現時点で当社業績への影響を合理的に予想することは非常に困難であることから、通期の連結業績予想に織り込まず、修正は行わない判断といたしました。また、今後の状況の変化に迅速に対応するため、コストの抑制に向けた取り組みを行ってまいります。一方で、2020年3月に邦銀メガ3行と総額20億円のコミットメントライン契約を締結しております。

なお、今後、各種情報収集に努め、業績予想に変更が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,171,967	1,916,788
売掛金	1,034,865	1,126,623
仕掛品	10,095	—
その他	59,280	91,708
貸倒引当金	△32	△35
流動資産合計	3,276,177	3,135,086
固定資産		
有形固定資産	95,018	190,053
無形固定資産	46,463	144,439
投資その他の資産	188,632	337,314
固定資産合計	330,114	671,808
資産合計	3,606,291	3,806,894
負債の部		
流動負債		
短期借入金	230,430	15,000
1年内返済予定の長期借入金	56,384	1,686
未払金	565,757	572,629
未払法人税等	89,224	152,735
賞与引当金	214,069	236,251
その他	253,599	334,716
流動負債合計	1,409,465	1,313,019
固定負債		
リース債務	5,691	33,769
資産除去債務	—	23,355
その他	523	3,404
固定負債合計	6,215	60,529
負債合計	1,415,681	1,373,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	429,884	430,280
資本剰余金	524,844	525,925
利益剰余金	1,224,421	1,380,940
自己株式	△155	△184
株主資本合計	2,178,995	2,336,962
非支配株主持分	11,615	96,384
純資産合計	2,190,610	2,433,346
負債純資産合計	3,606,291	3,806,894

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
売上高	3,905,695	4,578,450
売上原価	2,825,892	3,289,590
売上総利益	1,079,802	1,288,860
販売費及び一般管理費	765,573	948,390
営業利益	314,228	340,469
営業外収益		
受取利息	16	16
助成金収入	3,630	2,430
投資有価証券売却益	5,042	—
その他	70	86
営業外収益合計	8,760	2,533
営業外費用		
支払利息	1,061	1,014
支払手数料	—	1,112
その他	—	1
営業外費用合計	1,061	2,128
経常利益	321,927	340,874
特別損失		
会員権評価損	1,939	—
特別損失合計	1,939	—
税金等調整前四半期純利益	319,988	340,874
法人税、住民税及び事業税	132,817	136,370
法人税等調整額	△11,406	△8,787
法人税等合計	121,410	127,583
四半期純利益	198,577	213,291
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56	△4,546
親会社株主に帰属する四半期純利益	198,633	217,838

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	198,577	213,291
四半期包括利益	198,577	213,291
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,633	217,838
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	△4,546

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	319,988	340,874
減価償却費	12,900	16,149
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	3
賞与引当金の増減額(△は減少)	34,136	22,182
受取利息及び受取配当金	△16	△16
支払利息	1,061	1,014
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,042	—
売上債権の増減額(△は増加)	△72,542	△91,758
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,353	10,095
前払費用の増減額(△は増加)	△11,070	△28,513
長期前払費用の増減額(△は増加)	—	△82,017
未払金の増減額(△は減少)	21,121	6,926
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,767	58,208
その他	21,144	11,352
小計	292,264	264,503
利息及び配当金の受取額	12	13
利息の支払額	△1,037	△977
法人税等の支払額	△172,807	△72,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,432	191,440
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△11	△2
有形固定資産の取得による支出	△15,845	△38,917
無形固定資産の取得による支出	△9,820	△106,058
投資有価証券の売却による収入	5,043	—
差入保証金の差入による支出	△9,773	△59,857
その他	90	677
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,317	△204,159
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△129,770	△215,430
長期借入金の返済による支出	△15,018	△54,698
株式の発行による収入	1,710	792
自己株式の取得による支出	—	△28
非支配株主からの払込みによる収入	—	88,887
配当金の支払額	—	△61,092
その他	△517	△893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△143,596	△242,463
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△55,481	△255,181
現金及び現金同等物の期首残高	2,179,504	2,033,603
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,124,022	1,778,421

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,626,484	232,474	3,858,959	46,735	3,905,695
計	3,626,484	232,474	3,858,959	46,735	3,905,695
セグメント利益又は損失(△)	300,200	22,386	322,587	△8,359	314,228

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	技術者派遣 事業	コンサル ティング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,301,049	246,680	4,547,730	30,720	4,578,450
計	4,301,049	246,680	4,547,730	30,720	4,578,450
セグメント利益又は損失(△)	363,607	23,604	387,212	△46,742	340,469

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、就労移行支援事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。